



OKAYAMA UNIV.



文部科学省科学技術人材育成費補助金「テニュアトラック普及・定着事業」

NEWSLETTER

 No.
22
 2019.3

岡山大学 ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

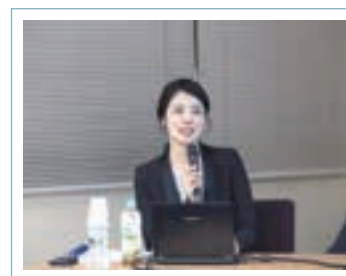


Index

平成30年度介護者セミナー開催／女性教員が研究シーズ発信会で発表	1
平成30年度スキルアップセミナー開催	2
第IX期ウーマン・テニュア・トラック（WTT）教員1名着任（H30.10.1）／学生のためのワーク・ライフ・バランス講座開催／助成金利用者の報告	3
事務室移転のお知らせ／助成金交付状況／事業利用状況／お手軽簡単 Recipe／編集後記	4

平成30年度介護者セミナー開催

平成30年11月30日（金）に本部棟6階第二会議室で男女共同参画室初の介護セミナーが開催されました。本セミナーでは、長崎大学ダイバーシティ推進センターで介護コンシェルジュとしてご活躍の内野睦美氏をお招きし、長崎大学での取り組みを通して介護者になる前に知っておくべきこと、介護事例と対応策などについて、講演していただきました。介護の準備として、介護保険、介護サービスの概要、相談窓口、職場の支援制度について理解し知っておくことはもちろん重要であるが、親の意向、経済状況、かかりつけ医などの情報をしっかりと知っておくこと、そのためには、介護の対象者となる家族、高齢者と常々話し合っておくことの重要性を強調されました。また、介護生活をスムーズに送るために、介護が必要になった時の資金計画が重要な側面であると述べられていました。そして介護者になっ



たら、一人で悩まず、「人を頼る」、「介護していることをオープンにする」を基本に自治体の相談窓口、職場の支援制度などを十分に活用し、援助を受けることで、自分の人生設計を大切することも重視すべきであると話されました。人生設計の中での介護の位置づけに対して、示唆に富んだお話しとして印象に残りました。参加者からも「仕事と介護についての両立を自分なりに考えることができる良い機会ができた」、「介護の現状を知ることによって、少し気持ちが楽になった」、「これからは、自分の生活や人生も考えながら介護を担っていききたい」などの感想が寄せられました。

女性教員が研究シーズ発信会で発表

平成30年12月4日（火）に岡山大学創立五十周年記念館にて開催された平成30年度岡山大学研究シーズ発信会（発表数9）において、他大学からコメンテーター2人を招待し、WTT教員経験者であるテニュア教員2人による研究発表が行われました。演者と講演タイトルは以下の通りです。

前田 恵 氏（大学院環境生命科学研究科 准教授）

「スギ・ヒノキ花粉アレルギー糖鎖の構造的特徴と糖鎖ポリマーの開発」

増田 潤子 氏（大学院ヘルスシステム総合科学研究科 助教）

「がん抑制効果のある化合物を免疫学的に選択するための検査技術」



スキルアップセミナー

「学生の学びを促す授業をつくる」開催



平成30年12月13日（木）理学部大会議室において、表記セミナーが開催されました。本セミナーは教育スキル向上に資することを目的として、長年にわたり名古屋大学のFDならびにSDの企画実施に携わってこられた名古屋大学教授夏目達也氏にお越しいただき、大学生に効果的な授業を展開するために考慮すべきこと、学生指導のポイント等についてお話いただきました。ユーモアあふれる講演を参加者はとても熱心に聴講し、講演後には多くの質問

が出されました。当日集計したアンケート結果からも、参加者が充実した2時間を過ごしたことが推察されます。夏目先生はかつて文科省におられたご経験から文科行政にも詳しく、はじめに高等教育の政策動向、カリキュラムや授業の質の向上、厳格な成績評価の必要性が叫ばれるようになった背景（高等教育の質保障重視）について触れられました。次に大学生の学習行動の現状を説明され、アンケートや調査結果に基づいた学生がよく学べる授業の条件、特に「進め方」、「話し方」、「評価」についての見解、さらに主体的な学習を促す試みにおける問題点や条件、大学教員の能力形成の手段や方法の多様性、名古屋大学の現状などについてお話しされました。以上のようなさまざまな試みや調査研究の結果を引用しながら、教育改善・授業改善のためには、学生の学びの現状の理解、学生を教育改善の活動に巻き込むことが重要であることを強調されました。また、大学教職員に求められることとして、多様なアクターとの協働、能力の維持向上のための努力をあげられました。最後に、名古屋大学で長年に亘って編集された、大学教員が教育活動の中で直面する問題解決のためのヒント・ノウハウ集「成長するティップス先生」<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp> のご紹介がありました。

スキルアップセミナー

初級・中級者向け「英語論文執筆セミナー」開催



男女共同参画室は若手研究者の研究スキルの向上に寄与するためのセミナーとして、これまで予算獲得、英語論文作成、英語プレゼンテーション等のセミナーを毎年開催しています。今回はその一環として、慶応大学医学部講師 Dabid Kipler 氏（カクタス・コミュニケーションズ株式会社派遣）による英語論文執筆セミナーを平成31年3月5日（火）岡山大学中央図書館本館3階セミナー室にて開催しました。

セミナーでは、研究論文の執筆と修正のコツ、サイエンスライティングの基礎（コロンや括弧、ダッシュを含む句読点の使い方、文法や語法の基礎、研究における倫理）について、すべて英語での講演が行われました。Q&A方式で行われた4時間のセミナーでは受講生からの活発な反応や質問があるなど、双方向の非常に密度の濃い講義が展開され、講義法の参考にもなりました。大学院生、学生を含む参加者によって提出されたアンケート結果には、本セミナーの有益度、講師の教え方に対して非常に高い評価が示されていました。



第Ⅸ期ウーマン・テニユア・トラック (WTT) 教員1名着任 (H30.10.1)

きむ じよん
金 志映 【所属】 大学院社会文化科学研究科 (経) 国際社会専攻比較経済講座

【研究内容】 専門分野は計量経済学・経済統計で、実物的側面と金融的側面の両方から経済を捉える研究を行っております。具体的には、一国のモノの流れを捉える産業連関表やお金の流れを捉える資金循環表などの経済統計を用いて、新しい分析方法の開発をはじめ、資料が不十分で研究事例が乏しかった途上国のケーススタディーや国際間の取引表の試作などを試みてきました。将来的には経済の実物的側面と金融的側面を統合するようなモデルの開発を目指しております。



【WTT 教員になったの抱負】 留学時代を含め渡日して11年目となりますが、これまでは研究所で働いてきたので、日本の大学への転職は私にとって大きなチャレンジでした。周りの先生方を含め岡山の温かい皆様に支えられて、岡山大学に着任して本当に良かったと思います。WTT教員のチャンスを活かして、より幅広い研究を目指していきながら、将来的には女性研究者の働きやすい研究環境づくりにも一助となれたらと思います。

〔 学生のためのワーク・ライフ・バランス講座開催 〕

日時 平成30年12月5日 (水) 16:00~17:30

場所 岡山大学一般教育棟D棟2階 D25教室

ワーク・ライフ・バランスの視点から岡山市が主催した表記講座を岡山市女性活躍推進協議会とともに共催しました。本講座は本学大学院社会文化科学研究科教授中谷文美氏をコーディネーターとして、学生を対象として開催されました。仕事と育児などの両立や企業で働く女性活躍の状況や課題について、企業で働く岡山大学卒業生による本音トークの後、座談会やグループディスカッションが行われました。学外学生を含む45人の学生が参加し、熱心な討論が繰り広げられました。参加者アンケートは回答者全員が「参加してとても良かった」あるいは「良かった」と答え、自由記述欄へのコメント記述も多数あり、学生のワーク・ライフ・バランスへの関心の高さが感じられました。



助成金利用者の報告

女性教員支援助成金 (マネジメント向上支援型)

報告者 山本 由美子氏 (グローバル・パートナーズ 講師)

実施概要 開催日：平成31年2月20日 (水) 会場：創立五十周年記念館

国連が掲げるSDGsへの理解を深めるために、「持続可能な社会：ケアの民主主義、経済・社会政策」をテーマとしたシンポジウムを開催しました。アメリカン大学経済学部マリア・フロロ教授の基調講演「ケアエコノミーと持続可能な社会」に続き、トロント大学社会学部イト・ペング教授、高麗大学行政学部金希剛教授、ILO駐日事務所田口晶子駐日代表、UNFPAアジア太平洋地域事務所森臨太郎氏、人口高齢化と持続可能な開発に関する地域アドバイザーマリア・フロロ教授の登壇によるパネルディスカッションを行いました。活発な意見交換を通じてSDGsについての理解を深めるとともに、パネリストの所属する大学・機関との交流拡大に繋がる関係を築くことができました。



◎復職支援制度利用者の声

医歯薬学総合研究科：助教

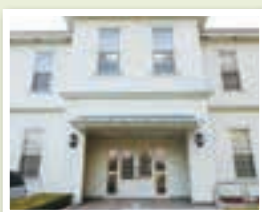
研究活動において研究費確保は常につきまとう。育児休業からの復帰後には中断させていた研究活動を再開するために、研究費の確保、研究時間の確保は普段以上に大事であると考えて。復職してから研究を以前と同じ水準で遂行するのは特に時間の面で難しいが、本助成金は、研究費の確保の面で一役買ってくれたと自分としては考えている。助成金をもとに研究が再開できたので、今後は研究をすすめ、学会発表や論文発表につなげていきたい。

事務室移転のお知らせ

旧工学部21号館から、津島西キャンパス「旧事務局庁舎1階」に移転しました。

事務室移転に伴い、わらふさサロン（毎週水曜日12時～16時）も同フロアーにて開催します。

どうぞお気軽にお越しください！！



Recipe

お手軽 簡単

第10回
おから
ハンバーグ

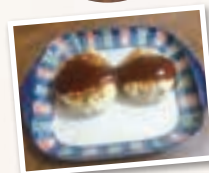
ボリュームたっぷり
ヘルシーレシピです。



【材料】（約2人分）

鳥ひき肉 …………… 200グラム
おから …………… 100グラム
玉ネギ …………… 1/2個
生姜 …………… 大さじ1
人参 …………… 1/2本
ひじき（水で戻す） …………… 適量
卵 …………… 1個（入れなくてもOK）
片栗粉 …………… 大さじ1
塩・こしょう …………… 少々

- ① 玉ネギ、生姜をみじん切りにし、人参はすりおろす
- ② 鳥ひき肉、おから、卵、片栗粉、塩・こしょうと①をよく混ぜる
- ③ お好みの大きさに整えて、サラダ油で両面を焼き、お好みのソースをかけた出来上がり！！



POINT!!

人参をすりおろすことで、しっとり柔らかいハンバーグになります（^^）

助成金交付状況（平成30年度）

復職支援助成金	女性教員支援助成金		
	他機関訪問型	マネジメント力向上支援型	国際学会発表型
復職者ヘリスタートアップ研究費を助成	他機関を訪問する活動の費用を助成	国際シンポジウム等のイベント開催費用を助成	国際学会参加のための費用を助成
3人	3人	2人	1人

事業利用状況（平成30年度）

研究支援員事業（のべ人数）

利用者数（内男性）	申請理由	
	出産・育児	介護
18人（1人）	16人（1人）	2人（0人）

ベビーシッター割引派遣事業（割引券発行2,200円/1日）

利用者数（内男性）	利用枚数
4人（3人）	87枚（85枚）

編集後記

平成最後のニュースレターをお届けします。男女共同参画室は発足以来今年度で10年を経過することになります。この間、取組の中心課題である女性教員の増加をめざし、WTT制度の継続実施をはじめとして各種ワーク・ライフおよび研究支援制度の充実、意識改革の推進、次世代人材の育成などに取り組んできました。岡山大学の女性教員比率は当室発足当時の12%程度から現在では18%を超え約2割の大台に迫っています。このことは男女共同参画室の取組みだけでなく、大学構成員の理解と協力があってこそ得られた成果であることは言うまでもありません。しかしながら依然として当初目標の達成には至っていないのが現状です。ダイバーシティ環境実現への本格的取組み開始から節目の10年を過ぎた今、皆様の更なるご理解とご協力、ご支援をいただきますよう切にお願いいたします。

お問い合わせ

国立大学法人 岡山大学
ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

〒700-8530
岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号
TEL: 086-251-7011 FAX: 086-251-7033
Email: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp
http://www.okayama-u-diversity.jp/

